

## 狂犬病集団予防注射廃止に伴う Q & A

Q 1. なぜ集団予防注射を廃止したのか。

A 1. 年々動物病院での接種が増加しており、集団予防注射を利用する方が減少しています。集団予防注射では、屋外での実施及び短時間で多数の犬に接種を行う必要がありますが、個別接種については、清潔且つ適切な設備が整った環境で、獣医師が事前に診察を行い、犬の健康状態を把握したうえで、適切に接種することができます。また、咬傷事故や体調急変のリスクの軽減にもつながることから、より安全かつ適切な方法であると判断いたしました。

Q 2. 動物病院に行くと「診察料」がかかり、集団注射より高くなるのではないかな？

A 2. はい。個別接種では、診察料が発生しますが、隠れた病気の早期発見につながるというメリットがあります。診察料は、愛犬の健康を守るための必要なコストとして、飼い主の皆様にご理解をお願いします。

Q 3. 集団注射よりも個別接種が「安全」と言い切れる理由は何かな？

A 3. 集団注射は屋外の不特定多数の犬が集まる環境で行われるため、衛生管理に問題がありました。個別接種であれば、清潔な診療室で、犬の既往歴等と当日の体調を把握したうえで接種判断がなされます。万が一、接種直後にアレルギー反応が起きた場合でも、その場ですぐに高度な救命処置が可能であるため、安全性は格段に高まります。

Q 4. 集団注射をやめると接種率が下がるのではないかな？

A 4. 狂犬病予防法により、毎年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。接種していない場合、ドッグラン・トリミング等の利用ができない他、罰金の可能性があります。飼い犬を家族として守り、社会の安全を守るためにも、狂犬病予防注射は法律で定められた飼い主の義務ですのでご理解をお願いいたします。